医療機器認証番号：225AHBZX00022000

株式会社 エー・アンド・デイ

取扱説明書

（保証書付）

超音波温熱 吸入器

UN-135 ピンク・ブルー（共通）

のど・鼻両用

ホットシャワー5

※この取扱説明書の中身は
ピンク色の写真で説明しています。

この度はお買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

この取扱説明書は大切に保管してください。

裏表紙が保証書になっていますので紛失しないように保管してください。

1WMPD4002753B

はじめにお読みください

使用の目的

- 超音波温熱吸入器ホットシャワー５（以下、吸入器と称す）は、口腔（上気道）の加湿・加温を行い、上気道を潤すためのものです。
- また、同様に鼻も加湿・加温し鼻粘膜を潤し、鼻づまり、鼻炎などの不快感を改善するためのものです。

目　次

ご使用になる前に

はじめにお読みください

安全上のご注意
＜必ずお守りください＞・・・・ 1

確認しましょう・・・・・・・・・・・・ 9

各部のなまえ・・・・・・・・・・・・・ 10

特長としくみ・・・・・・・・・・・・・ 12

吸入器の特長・・・・・・・・・・・・・・・ 12
吸入器のしくみ ・・・・・・・・・・・・・ 12

使いかた

使いかた・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

準備する・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
吸入方法の選択・・・・・・・・・・・・・ 20
吸入する・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

使い終わったら・・・・・・・・・・・ 27

片付ける・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

お手入れ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

各部の清掃 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

困ったときは

Q&A 修理を依頼する前に ・ 35

Q&A ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
動作しないときは ・・・・・・・・・・・・ 35
故障かな?と思ったら ・・・・・・・・ 36

仕様・保証について

仕様について・・・・・・・・・・・・・ 38

仕　様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
別売品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

保証規定

保証書

安全上のご注意 <必ずお守りください>

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されることを示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定される内容を示します。

*1： 重傷とは失明やケガ、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2： 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないケガ、やけど、感電などをさします。

*3： 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止	は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
強制	は、指示する行為の**強制**（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注意	は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

◉ 一般的な注意事項

⚠ 警告

禁止

乳幼児や自分で意思表示できない人には使用しない

※ 守らないと、やけど・ケガ・事故の原因になります。

強制

次の人は使用前に医師に相談する

- □ 呼吸器に疾患のある人
- □ 喘息のある人
- □ 温度感覚喪失がある人
- □ 耳鼻咽喉に疾患のある人
- □ 医療機関で治療中の人
- □ 鼻粘膜、口腔内、耳に炎症がある人

感電注意

濡れた手で、電源プラグのコンセントへの抜き差しをしない

※ 守らないと、感電・やけど・ケガ・事故の原因になります。

⚠ 注意

禁止

吸入液には、水道水または約 1%の食塩水を使用し、薬液は使用しない

※ 守らないと、故障、事故、健康を害する原因になります。

吸入液に時間が経った古い水は使用しない

※ 守らないと、事故や健康を害する原因になります。

水道水以外の地下水やミネラルウォーターは使用しない

※ 地下水やミネラルウォーターを使用すると雑菌が繁殖しやすく、故障や健康を害する原因になります。

コンタクトレンズ用の生理食塩水は使用しない

※ 守らないと、事故や健康を害する原因になります。

約 1%の食塩水を作る時、食塩の量を間違えない

※ 守らないと、効力が失われるばかりでなく、健康を害する原因になります。

吸入液の量を間違えない

※ 守らないと、吸入液があふれたり、霧の出が悪くなる原因になります。

⚠ 注意

禁止

吸入液カップの底部（超音波振動を伝達するための柔らかい振動膜）を押したり、変形させたり、つぶしたり、傷をつけたりしない

※ 守らないと、霧の量が減ったり、故障や事故の原因になります

霧化タンクには、水道水以外を入れない

※ 守らないと、故障の原因になります

霧化タンクの底部（白色の部分）を押したり、傷つけたりしない

※ 守らないと、霧の量が減ったり、故障の原因になります。

使用中に吸入器本体を揺らしたり、傾けたりしない

※ 守らないと、感電・故障の原因になります。

吸入器本体を落としたり、過度な衝撃を与えたりしない

※守らないと故障や事故の原因になります。

強い電磁波を発生する機器を近づけない

※ 守らないと、誤作動の原因になります。

霧化カバー B（磁石を使用）に携帯電話、磁気カード、磁気テープを近づけない

※ 守らないと、磁石によって記憶内容が破壊される恐れがあります。

ガス調理器・暖房機など炎を使用する機器に近づけない

※ 守らないと、故障や事故の原因になります。

電源ケーブルや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい場合は使用しない

※ 守らないと、感電・火災の原因になります。

電源ケーブルの上に重いものをのせたり、挟み込んだりしない

※ 守らないと、感電・火災の原因になります。

電源ケーブルの損傷、破損、無理な湾曲・引張り・捩りを避け、尚且つ加工をしない

※ 守らないと、感電・火災の原因になります。

⚠ 注意

禁止

直射日光が長時間あたる場所で使用しない
※ 守らないと、感電・故障の原因になります。

浴室など湿度の高いところでは使用しない
※ 守らないと、故障や事故の原因になります。

AC100V 以外の電源では使用しない
※ 守らないと、火災・誤作動の原因になります。

吸入以外の目的で使用しない
※ 守らないと、感電・故障の原因になります。

他の治療機器と同時に使用しない
※ 守らないと、火傷や体調不良の原因になります。

他の医療機器や器具と接続しない
※ 守らないと、事故の原因になります。

分解禁止

改造や修理を行わない
※ 守らないと、保証の対象外になるばかりか、火災・故障の原因になります。

強制

お子様や身体の不自由な人がこの吸入器を使用する場合は、必ず補助をする人が付き添う
※ 守らないと、やけど・ケガ・事故・故障の原因になります。

しばらく使用しても効果が表れない場合には、医師または専門家に相談する
※ 守らないと、体調不良の原因になります。

吸入液、霧化タンクに入れる水道水が冷たい場合は、室温になじませるため、しばらく放置してから使用する
※ 守らないと、霧化量が減少する原因になります。

⚠ 注意

強制

吸入は一回５分以内とし、続けて使用する場合は二回までとする

※ 守らないと、低温やけどの原因になります。

約 1%の食塩水は必ず水道水で作る

※ 守らないと、効力が失われるばかりでなく、健康を害する原因になります。

ヒーターガード A, B を必ず装着する

※ 守らないと、霧が温まらなくなります。また、円筒ヒーターが露出して火災・やけどの原因になります。

霧化カバー A, B を必ず装着する

※ 守らないと、吸入液が周囲に飛散します。

電源プラグは、容易に抜けないように正しく確実にコンセントに差し込む

※ 守らないと、火災・感電・故障の原因になります。

傾斜、振動、衝撃などのない場所で使用する

※ 守らないと、やけど・ケガ・事故・故障の原因になります。

ホコリ、塩分、イオウ分などを含んだ空気のない場所で使用する

※ 守らないと、火災・感電・故障の原因になります。

使用中に身体に異常を感じたときは、速やかに使用を中止する

※ 守らないと、体調不良の原因になります。

しばらく使用しなかった場合は、よく清掃してから使用する

※ 守らないと、カビや雑菌が繁殖し、健康を害する原因になります。

しばらく使用しなかった吸入器を使用するときは、正常に作動すること (電源が入る、霧化するなど) を確認する

※ 守らないと、感電・故障の原因になります。

⚠ 注意

電源プラグを抜く

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

※ 守らないと、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを手で持って抜く

※ 守らないと、故障や断線による感電・火災の原因になります。

使用中に吸入器が転倒した場合は、使用を中止して電源プラグをコンセントから抜く

※ 守らないと、感電の原因になります。

停電の時は、速やかに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜く

※ 守らないと、火災・感電・故障の原因になります。

高温注意

口、鼻が熱いと感じる場合は、吸入マスクや口・鼻ノズルから口と鼻を離す

※ 守らないと、低温やけどの原因になります。

極端に高温になったり、焦げ臭くなったり、動かなくなった場合は、電源プラグをコンセントから抜き、速やかに使用を中止する

※ 守らないと、感電・火災の原因になります。

霧の温度が高くなるので、吸入液および霧化タンクの水道水にお湯を使用しない

※ 守らないと、火傷・故障の原因になります。

お手入れ・保管の注意事項

⚠ 注意

禁止

吸入器本体を水洗いしない

※ 守らないと、感電・故障の原因になります。

ベンジン、シンナー、アルコール等の有機溶剤で吸入器を清掃しない

※ 守らないと、故障・変形・変色の原因になります。

熱湯で吸入器を煮沸消毒しない

※ 守らないと、故障・変形・変色の原因になります。

次の場所を保管場所にしない

□ 高温多湿な所　□ 直射日光が当たる所　□ 火気の近く
□ 温暖の差が激しい所　□ 強い電磁界のある所

※ 守らないと、故障の原因になります。

強制

使用後は、吸入器本体、霧化タンク底部 (白色の部分) を清掃し、乾燥させてから保管する

※ 守らないと、故障の原因になります。

お子様の手の届かない場所に保管する

※ 守らないと、ケガ・事故・故障の原因になります。

高温注意

お手入れのときは、使用後 15 分以上放置し、円筒ヒーターが完全に冷めたことを確認する

※ 守らないと、やけどの原因になります。

使用後は、電源プラグをコンセントから抜き、円筒ヒーターが冷めてから保管する

※ 守らないと、火災・やけどの原因になります。

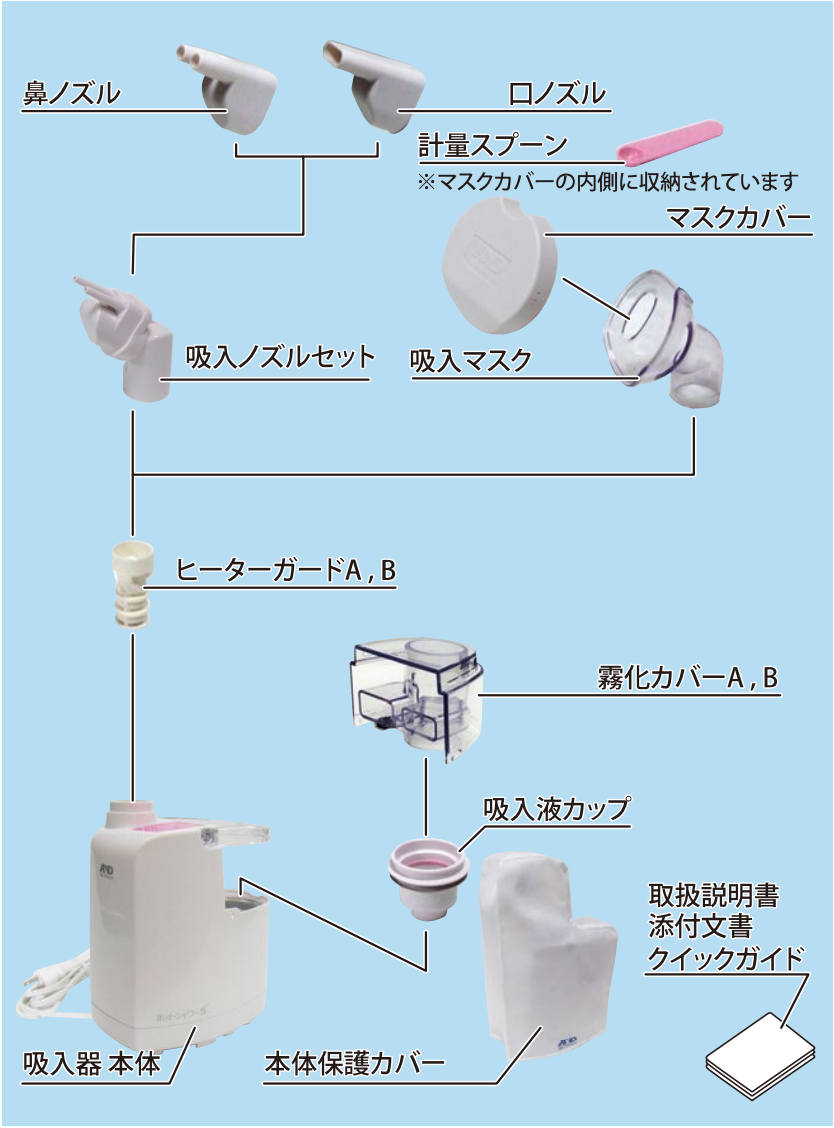
炎色反応について

お知らせ

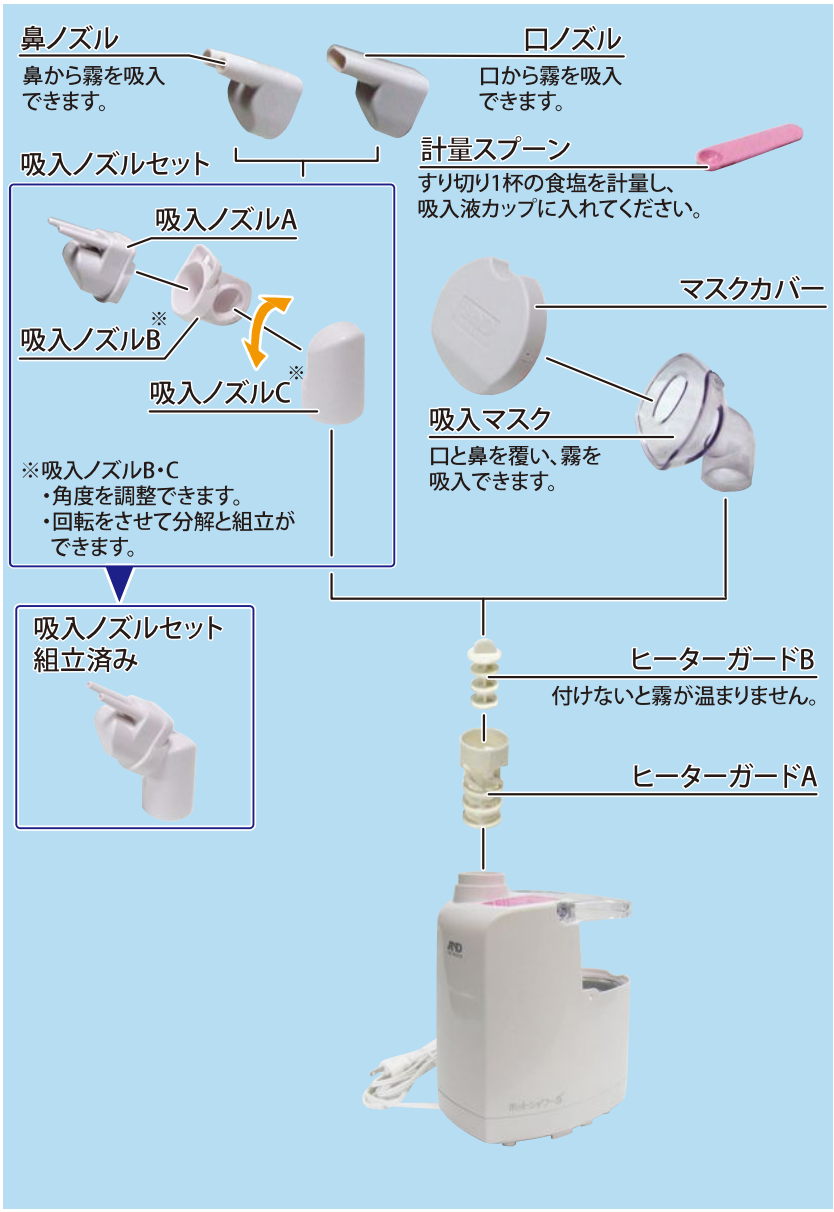
- ガス器具の近くでご使用になりますと、ガスの炎（通常は青色）が橙色になることがあります。これは水中に溶けているカルシウムなどが加熱されるときに特有の光を発する現象なので問題ありません。吸入器を使用する際は、ガス器具から離れてご使用ください。

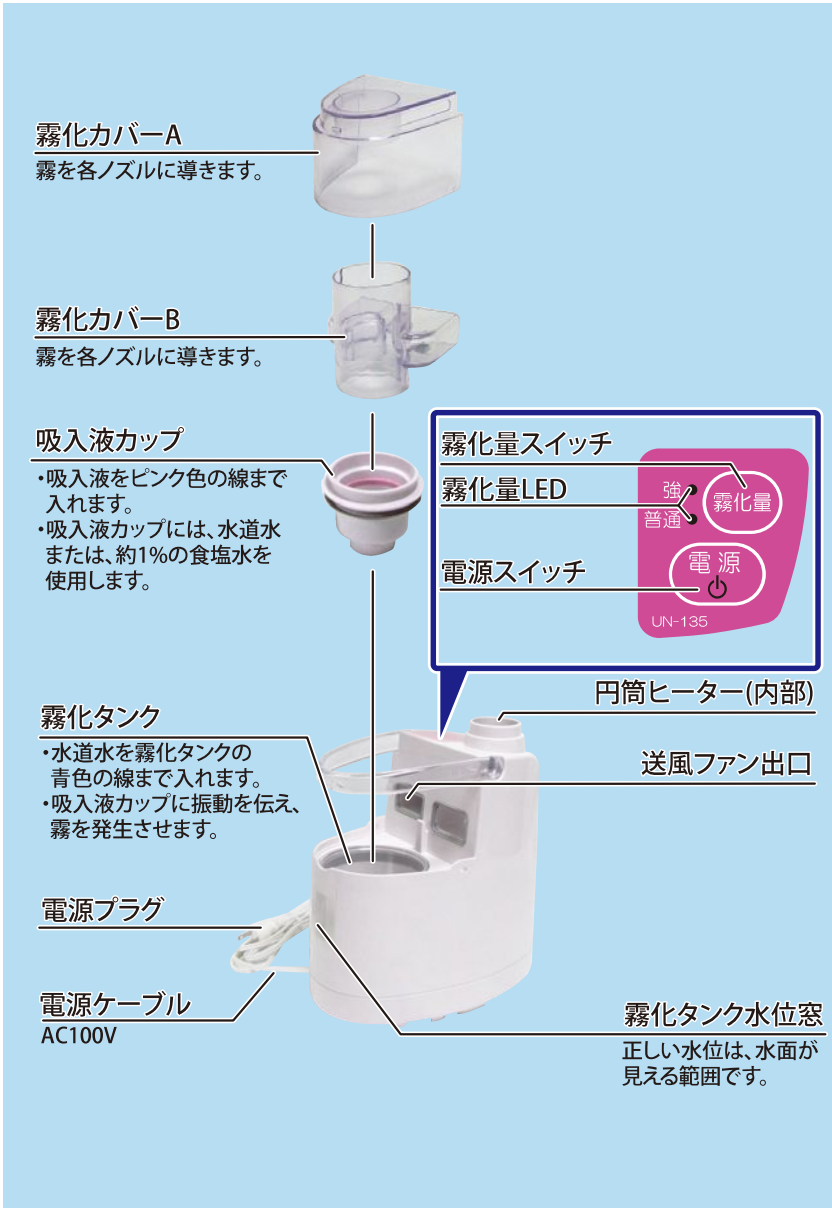
確認しましょう

はじめに、次のものがそろっているか確認してください。万一、不足がある場合は、ご購入の販売店または弊社お客様相談センター（0120-514-016）にご相談ください。



各部のなまえ


鼻ノズル
鼻から霧を吸入できます。
口ノズル
口から霧を吸入できます。
吸入ノズルセット
計量スプーン
すり切り1杯の食塩を計量し、吸入液カップに入れてください。
吸入ノズルA
※
吸入ノズルB
※
吸入ノズルC
マスクカバー
吸入マスク
口と鼻を覆い、霧を吸入できます。
※吸入ノズルB・C
・角度を調整できます。
・回転をさせて分解と組立ができます。
吸入ノズルセット
組立済み
ヒーターガードB
付けないと霧が温まりません。
ヒーターガードA


霧化カバーA
霧を各ノズルに導きます。
霧化カバーB
霧を各ノズルに導きます。
吸入液カップ
・吸入液をピンク色の線まで入れます。
・吸入液カップには、水道水または、約1%の食塩水を使用します。
霧化量スイッチ
霧化量LED
強
普通
霧化量
電源スイッチ
電 源
UN-135
円筒ヒーター(内部)
送風ファン出口
霧化タンク
・水道水を霧化タンクの青色の線まで入れます。
・吸入液カップに振動を伝え、霧を発生させます。
電源プラグ
電源ケーブル
AC100V
霧化タンク水位窓
正しい水位は、水面が見える範囲です。

特長としくみ

吸入器の特長

- 圧電セラミックスを利用した超音波振動により、一様な霧の粒子を発生させます。気温が 23℃、吸入液・霧化タンク内の水温が 15℃の時、吸入口部で約 43℃になるように霧を加温します。
- 霧化量は 2 段階（「強」⇔「普通」）で調整できます。
- 吸入マスクやノズルを換えると吸入方法を選択できます

  鼻やのどの広い範囲を加温・加湿する「吸入マスク」。

  鼻詰まりでも風力で霧を送り、鼻内を加温・加湿する「鼻ノズル」。

  のどに直接、風力で霧を送り、加温・加湿する「口ノズル」。
- 約 1 %の食塩水（生理食塩水）を作り、吸入できます。
- 動作音が静かです。

吸入器のしくみ

⚠ 注意

強制

この吸入器は 2 箇所 (吸入液カップ、霧化タンク) に水道水（吸入液カップは約 1% の食塩水の場合もある）を入れる

※ 守らないと、火災・感電・故障の原因になります。

霧化タンクには、必ず水道水を入れる

※ 守らないと、故障の原因になります。

吸入液、霧化タンクに入れる水道水が冷たい場合は、室温になじませるため、しばらく放置してから使用する

※ 守らないと、霧化量が減少する原因になります。

吸入器のしくみ（つづき）

霧化の原理

● この吸入器は、霧化タンク底部の圧電セラミックスで発生した超音波振動を利用して、一様な吸入液の霧粒子を作り出します。

超音波振動の伝搬経路：

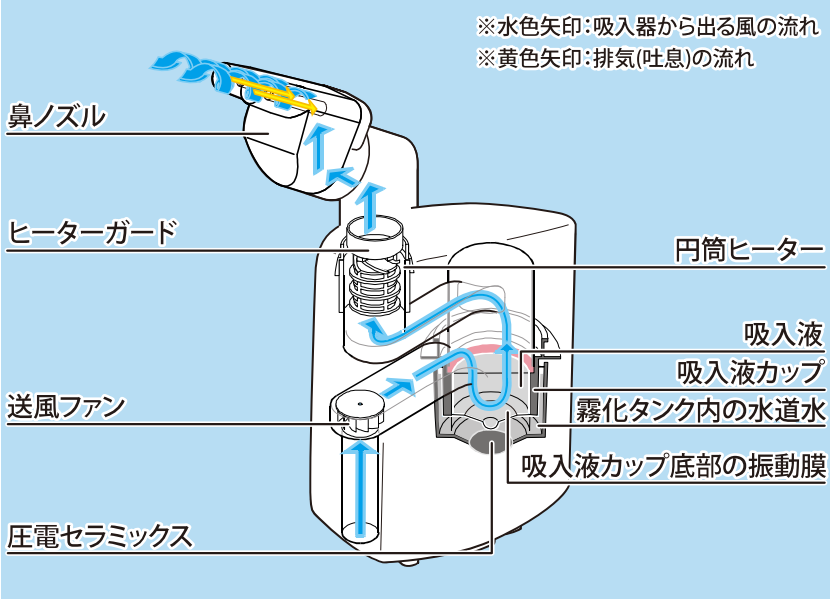
圧電セラミックス ➡ 霧化タンク内の水 ➡ 吸入液カップ底部の振動膜 ➡ 吸入液

の順に伝わり、吸入液が霧になります。

● 作り出した霧粒子は、内部の送風ファンの気流に乗り、円筒ヒータで温められ、吸入マスクや口・鼻ノズルから吹き出します。

● 霧の粒子は送風経路で攪拌され、一様な温度で吸入マスクや口・鼻ノズル全体から優しく吹き出します。

内部のしくみ（正面図）



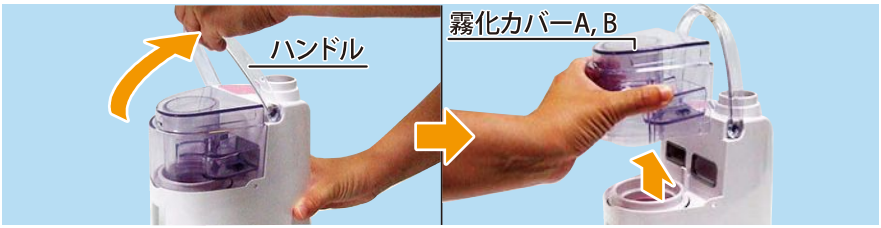
使いかた

準備する

お知らせ

● この吸入器は 2 箇所（吸入液カップ、霧化タンク）に水道水（吸入液カップは約 1% の食塩水の場合もある）を入れる構造になっています。

1 ハンドルを上げ、霧化カバー A, B を取り外す



2 吸入液カップを取り出す

3 各部品をすすぐ

取り外した部品を水道水ですすいでください。

⚠ 注意

強制

吸入器本体を水洗いしない

※ 守らないと、感電・故障の原因になります。

4 霧化タンクの青色の線まで水道水を入れる

霧化タンクの青色の線を越えないように水道水（60cc）を入れます。

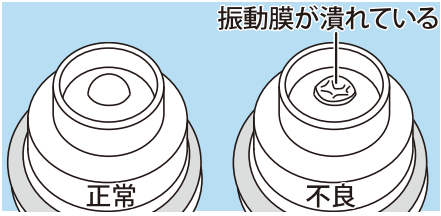
5 吸入液カップのパッキンが溝にしっかりとはまっていることを確認する

⚠ 注意

禁止

吸入液カップの底部（超音波振動を伝達するための柔らかい振動膜）を押したり、変形させたり、つぶしたり、傷をつけたりしない

※ 守らないと、霧の量が減ったり、故障や事故の原因になります。



準備する（つづき）

⚠ 注意

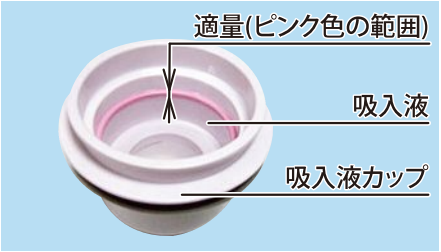
禁止

水道水以外の地下水やミネラルウォーターは使用しない

※ 地下水やミネラルウォーターを使用すると雑菌が繁殖しやすく、健康を害する原因になります。

6 吸入液カップのピンク色の線まで水道水または 1% の食塩水を入れる

吸入液カップのピンク色の線を越えないように水道水 (35cc) を入れます。



⚠ 注意

禁止

吸入液カップのピンク色の線を越える量の水道水を入れない

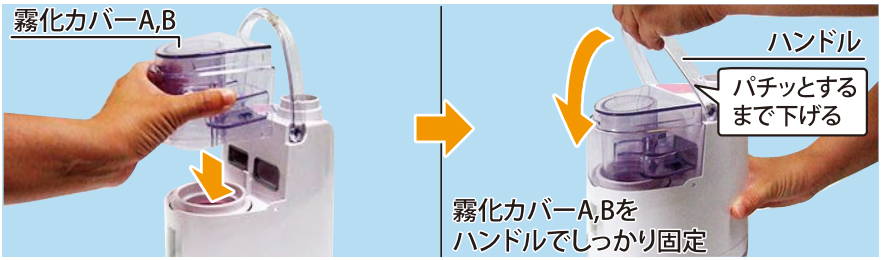
※ 守らないと、霧の量が少なくなります。

お知らせ

- 吸入液カップ内側のピンク色の線の範囲が適量範囲です。
- 吸入液には、水道水または約 1%の食塩水を使用してください。
- 吸入液カップの振動膜をつぶさないでください。
- 水道水でむせてしまう方は、約 1%の食塩水を使用してください。(☞ 19 ページ)
- 霧化タンクに入れる水道水や吸入液が冷たい場合、霧化量が少なくなることがあります。その時は室温に馴染ませた水道水を使用してください。

7 水道水が入っている霧化タンクに吸入液カップを入れる

8 霧化カバー A, B を取り付け、ハンドルを下げる



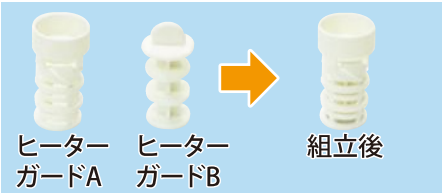
お知らせ

- 霧化カバー A,B をハンドルでしっかりと固定してください。ハンドルでしっかりと固定されていないと霧が漏れたり、霧の量が少なくなります。

準備する（つづき）

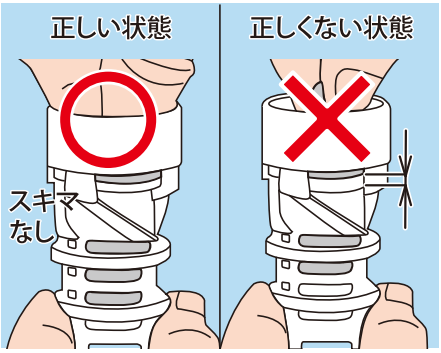
9 ヒーターガード A, B を準備する

ヒーターガード B をヒーターガード A の奥まで差し込みます。

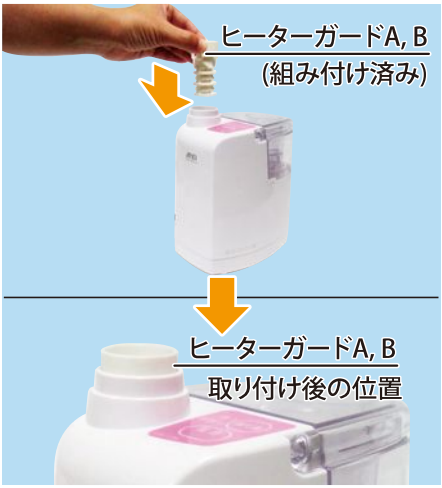


お知らせ

- ヒーターガード A, B は、正しい状態になるようにしっかりとハマっていることが重要です。ハマっていないと、霧が出ないもしくは少なくなったりします。



10 ヒータガード A, B を取り付ける



お知らせ

- 組立後のヒーターガード A, B を、吸入器本体の円筒ヒーター出口に取り付けます。
- 右図がヒータガード A,B の取り付け後の位置です。無理に押し込まないでください。

約 1% の食塩水の作りかた（生理食塩水）

約 1%の食塩水は、人体の塩分濃度とほぼ同じです。

1 吸入液カップのピンク色の線まで水道水を入れる

吸入液カップのピンク色の線を越えないように水道水 (35cc) を入れます。

⚠ 注意

禁止

吸入液カップのピンク色の線を越える量の水道水を入れない

※ 守らないと、霧の量が少なくなります。

2 付属の計量スプーンで、すり切り一杯の食塩（0.32g）を入れる

お知らせ

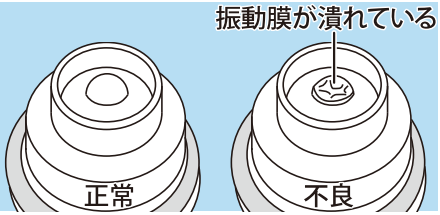
- 吸入液カップに入れた食塩は本体にセットして動作をさせた際にかき混ぜられます。

⚠ 注意

禁止

吸入液カップの底部（超音波振動を伝達するための柔らかい振動膜）を押したり、変形させたり、つぶしたり、傷をつけたりしない

※ 守らないと、霧の量が減ったり、故障や事故の原因になります。



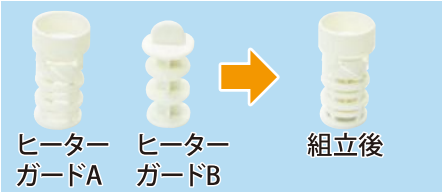
吸入方法の選択

⚠ 注意

強制

ヒーターガード A, B が吸入器本体に装着されているか必ず確認する

※ 守らないと、霧が温まらなくなります。また、円筒ヒーターが露出してやけど・火災の原因になります。



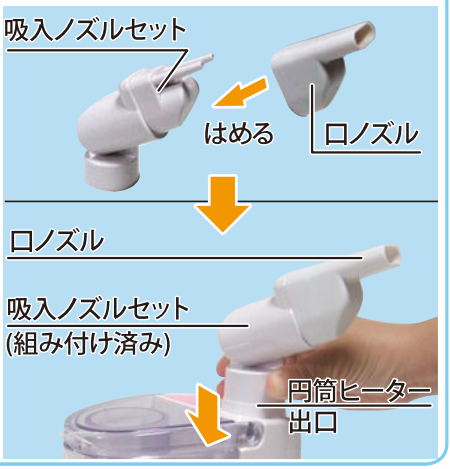
1 吸入方法を選択する

■口・鼻両方で吸入したい場合

・吸入マスクを円筒ヒーター出口に取り付ける。

■口から集中的に吸入したい場合

・口ノズルをはめた吸入ノズルセットを円筒ヒーター出口に取り付ける。

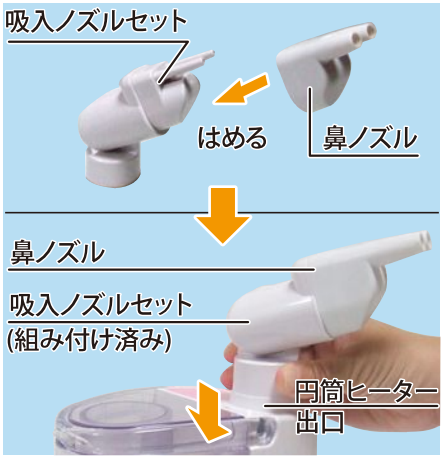


お知らせ

● 吸入ノズルセットに口ノズルをはめてから円筒ヒーター出口に取り付けてください。

■鼻から集中的に吸入したい場合

・鼻ノズルをはめた吸入ノズルセットを円筒ヒーター出口に取り付ける。



お知らせ

● 吸入ノズルセットに鼻ノズルをはめてから円筒ヒーター出口に取り付けてください。

2 電源プラグをコンセントに差し込む

⚠ 警告

感電注意

濡れた手で、電源プラグをコンセントから抜き差ししない

※ 守らないと、感電・やけど・ケガ・事故の原因になります。

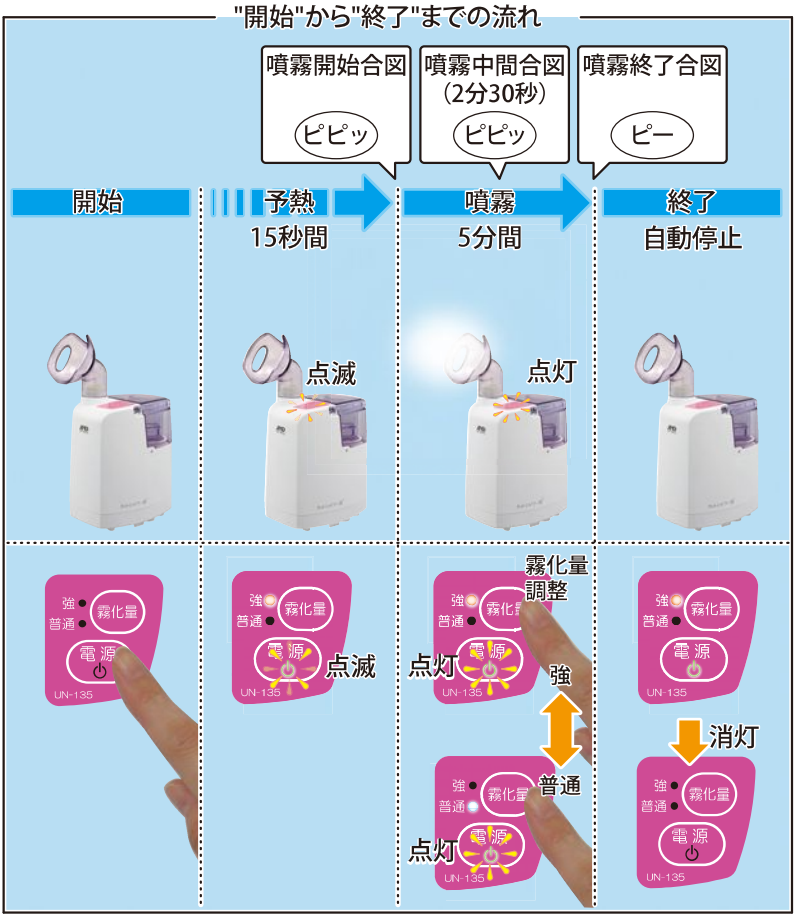
吸入する

⚠ 警告

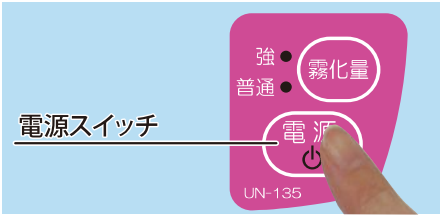
禁止

乳幼児や自分で意思表示できない人には使用しない

※ 守らないと、やけど・ケガ・事故の原因になります。



1 電源スイッチを押す



お知らせ

- 霧化タンクに水道水を入れ忘れたり、量が少ない場合は、電源を入れて動作させた際にブザー（警告音）が「ピピピ・・・」と断続的に鳴ります。

電源スイッチが、ゆっくりと15秒間点滅し、円筒ヒーターが予熱されます。

予熱が完了すると、点滅から点灯に変わり、噴霧を開始します。

お知らせ

- 予熱の15秒間に作られた霧は噴出しません。

吸入する（つづき）

2 霧化量や温度を確認する

霧の温度

霧の温度は、気温 23℃、水温（吸入液、霧化タンクの水道水）15℃で約 43℃になるように設定しています。

⚠ 注意

高温注意

霧の温度が高くなるので、吸入液および霧化タンクの水道水にお湯を使用しない

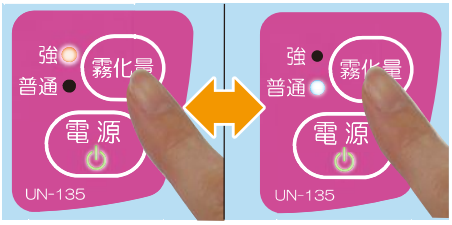
※ 守らないと、やけど・故障の原因になります。

お知らせ

- 水温が低い場合は、霧の量が少なくなったり、温度が低くなることがあります。室温になじませてから使用するようにしてください。
- ヒーターが温まるまで霧の温度が低い場合があります。

3 霧化量を調整する場合は、霧化量スイッチを押す

「強」⇔「普通」を選択できます。



お知らせ

- 電源投入時は、「強」が選択されています。

4 吸入する

吸入マスク、口・鼻ノズルに顔を密着させず、少し離して、ゆっくりと吸入してください。

吸入方法について

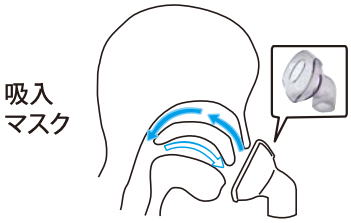
⚠ 注意

高温注意

口、鼻が熱いと感じる場合は、吸入マスクや口・鼻ノズルから口と鼻を離す

※ 守らないと、低温やけどの原因になります。

＜鼻をうるおす場合＞

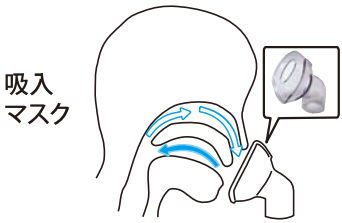


"鼻"から吸い込み"口"から出す

＜鼻詰まりの場合＞

出た霧を鼻にあてる

＜のどをうるおす場合＞



"口"から吸い込み"鼻"から出す

＜のどを直接うるおす場合＞

出た霧をのどにあてる

吸う= ➡　吐く= ⇨

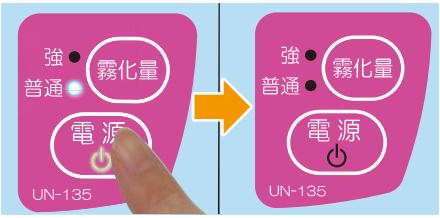
吸入する（つづき）

お知らせ

- ５分経過するとブザーが鳴り、電源スイッチが消灯し噴霧が終了します。
- 途中で噴霧を終了したいときは、電源スイッチを押してください。
- むせやすい方は、約１%の食塩水を使い、霧化量を「普通」にしてください。（「約 1% の食塩水のつくりかた (生理食塩水)」（☞ 19 ページ））

5 途中で吸入をやめる場合は、電源スイッチを押す

吸入器が停止します。



連続して使用する場合

連続して使用する場合は、「吸入する」（☞ 23 ページ）からやり直してください。

お知らせ

- 連続使用の際に霧の量が少なくなった場合は、残った吸入液を捨て、「準備する」（☞ 14 ページ）からやり直してください。

⚠ 注意

強制

吸入は一回５分以内とし、続けて使用する場合は、二回までにする

※ 守らないと、低温火傷の原因になります。

使い終わったら

片付ける

残った吸入液および水を捨てる

⚠ 警告

感電注意

濡れた手で、電源プラグのコンセントへの抜き差しをしない

※ 守らないと、感電・やけど・ケガ・事故の原因になります。

1 製品の電源が切れていることを確認し、電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 吸入器本体から吸入マスクもしくは吸入ノズルセットを取り外す

3 ヒーターガード A, B を取り出す (A,B は一体型です)

⚠ 注意

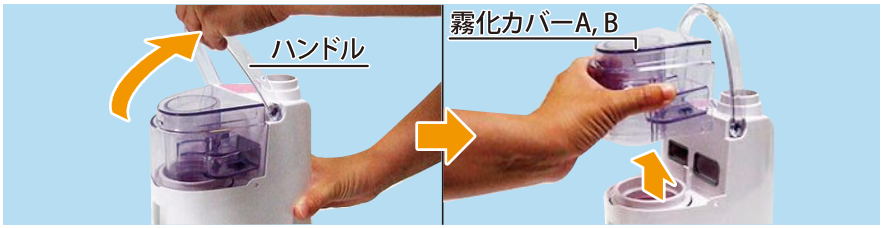
高温注意

使用後 15 分以上放置して、冷めてから取り出す

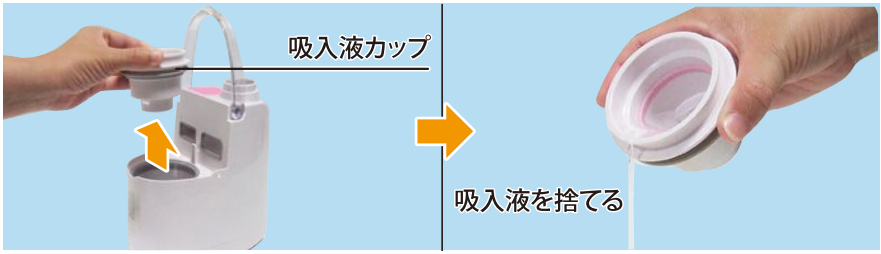
※ 守らないと、やけどの原因になります。

片付ける（つづき）

4 ハンドルを上げ、霧化カバー A, B を取り外す (A,B は一体型です)



5 吸入液カップを外し、吸入液カップに残っている吸入液を捨てる



6 霧化タンク内の水道水を捨てる

⚠ 注意

禁止

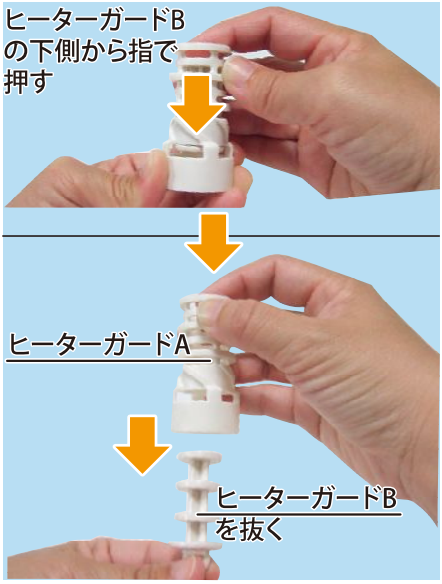
吸入器本体を水洗いしない

※ 守らないと、感電・故障の原因になります。

ヒーターガード A, B の分解

ヒーターガード A, B は、以下の方法で分解してください。

● ヒーターガード B の下側から指で押して、ヒーターガード A より取り外してください。



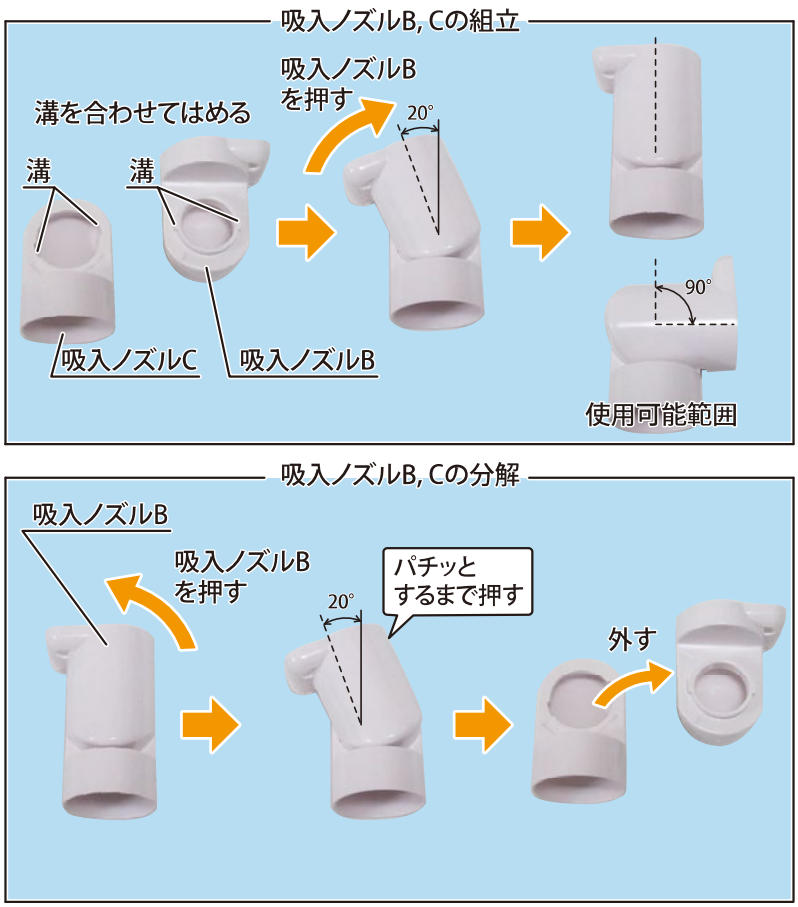
片付ける（つづき）

吸入ノズル B, C の組立と分解

吸入ノズルの組立と分解方法を下図に示します。

お知らせ

● 使用可能範囲以上に吸入ノズルを可動させないでください。



各部を拭く

⚠ 注意

禁止

吸入器本体を水洗いしない

※ 守らないと、感電・故障の原因になります。

強制

使用後は、吸入器本体、霧化タンク底部（白色の部分）を清掃し、乾燥させてから保管する

※ 守らないと、故障の原因になります。

高温注意

お手入れのときは、使用後 15 分以上放置し、円筒ヒーターが完全に冷めたことを確認する

※ 守らないと、やけどの原因になります。

使用後は、電源プラグをコンセントから抜き、円筒ヒーターが冷めてから保管する

※ 守らないと、火災・やけどの原因になります。

お知らせ

- 約 1 %の食塩水を使用した場合は、乾燥すると食塩が付着するため、吸入マスク、吸入ノズルセット、口･鼻ノズル、ヒーターガード A, B、霧化カバー A, B は、水洗いしてください。家庭用中性洗剤で洗うこともできます。
- 約 1 %の食塩水が送風ファンに付着したまま乾燥させると、塩の結晶が送風ファンの回転を妨げることがあります。

1 吸入器本体を拭く

やわらかい布を水に湿らせてよくしぼったものを使用して拭いてください。

片付ける（つづき）

⚠ 注意

禁止

吸入マスク、吸入ノズルセット、口・鼻ノズル、吸入液カップ、ヒーターガード A, B、霧化カバー A, B を熱湯で煮沸消毒しない

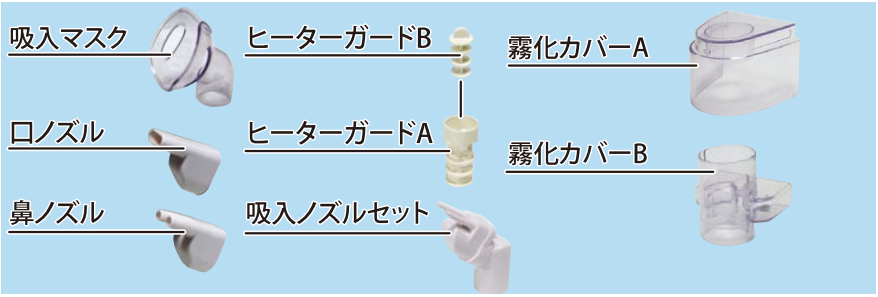
※ 守らないと、変形・変色・故障の原因になります。

食器洗い乾燥機は使用しない

※ 守らないと、変形・変色・故障の原因になります。

2 次の部品は水洗いをして水滴を拭き取る

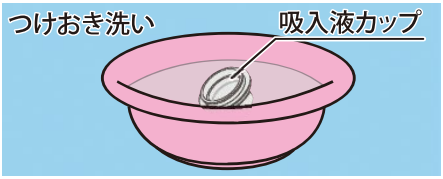
水洗いをしてからよく乾いた布で吸入マスク、吸入ノズルセット、口・鼻ノズル、吸入液カップ、ヒーターガード A, B、霧化カバー A, B の水滴を拭き取ってください。



3 吸入液カップはつけおき洗いをする

お知らせ

- 吸入液カップは破れやすいため、つけおき洗いをしてください。
- 家庭用中性洗剤を使用してください。



4 つけおき後は水洗いをしてから、よく乾燥させて保管する

お手入れ

各部の清掃

⚠ 注意

禁止

吸入器本体を水洗いしない

※ 守らないと、感電・故障の原因になります。

ベンジン、シンナー、アルコール等の有機溶剤で吸入器を清掃しない

※ 守らないと、変形・変色・故障の原因になります。

強制

使用後は、吸入器本体、霧化タンク底部（白色の部分）を清掃し、乾燥させてから保管する

※ 守らないと、故障の原因になります。

お子様の手の届かない場所に保管する

※ 守らないと、ケガ・事故・故障の原因になります。

高温注意

お手入れのときは、使用後 15 分以上放置し、円筒ヒーターが完全に冷めたことを確認する

※ 守らないと、やけどの原因になります。

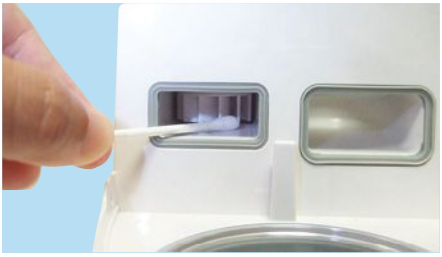
使用後は、電源プラグをコンセントから抜き、円筒ヒーターが冷めてから保管する

※ 守らないと、火災・やけどの原因になります。

各部の清掃（つづき）

● 吸入器本体の清掃には、やわらかい布を水に湿らせてよくしぼったものを使用し、汚れをていねいに拭き取ってください。

● 送風ファンの汚れは綿棒などで拭き取ってください。



お知らせ

● 約１％の食塩水を使用した場合は、乾燥すると食塩が付着するため、吸入マスク、吸入ノズルセット、口・鼻ノズル、ヒーターガード A, B、霧化カバー A, B は、水洗いしてください。家庭用中性洗剤で洗うこともできます。

● 吸入液カップは破れやすいため、つけおき洗いをしてください。

● 清掃後は、保管してください。

Q&A　修理を依頼する前に

Q&A

Q 薬液は使用できますか？

A. 使用できません。

故障や動作不良の原因になりますので、使用できません。

Q ミネラルウォーターは使用できますか？

A. 使用できません。

故障や動作不良の原因になりますので、吸入液、霧化液ともに使用できません。また、地下水も同様に使用できません。

動作しないときは

電源スイッチが早く点滅したときは、動作エラーをおこしています。
ブザー（警告音）の鳴りかたに応じて、下記を参考に対処してください。

ブザー（警告音）の鳴りかた	原　因	内容・対処のしかた
「ピピピピピ･･･」と断続音が鳴る	霧化タンクの水道水が不足している	霧化タンクの水道水を適量にしてください。 （☞ 15 ページ）
「ピーーーー」と連続音が鳴る	霧化カバー A, B が正しく取り付けられていない	霧化カバー A, B を正しく取り付けてください。 （☞ 17 ページ）

故障かな？と思ったら

こんなとき	ここを確認	対処のしかた
電源スイッチを押してもスイッチ部が点滅（点灯）しない	電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか？	電源プラグを差しなおしてください。 （☞ 21 ページ）
・電源スイッチを押してから 15 秒以上たっても霧が出ない ・霧の出が悪い	・吸入液は入っていますか？ ・吸入液がピンク色の線を越えていませんか？	吸入液を入れなおしてください。 （☞ 16 ページ）
	・霧化タンクの水道水は入っていますか？ ・霧化タンクの水道水は適量ですか？	霧化タンクの水道水を入れなおしてください。 （☞ 15 ページ）
	ヒーターガード A, B は奥まで差し込まれていますか？	ヒーターガード B をヒーターガード A の奥まで差し込みます。 （☞ 18 ページ）
	吸入液や霧化タンクの水道水の温度が低すぎませんか？	しばらく放置するなどして、水温が室温近くになってから使用してください。
霧の温度が低すぎる	ヒーターガード A, B を取り付けていますか？	ヒーターガード A, B を取り付けてください。 （☞ 18 ページ）
	吸入液や霧化タンクの水道水の温度が低すぎませんか？	しばらく放置するなどして、水温が室温近くになってから使用してください。

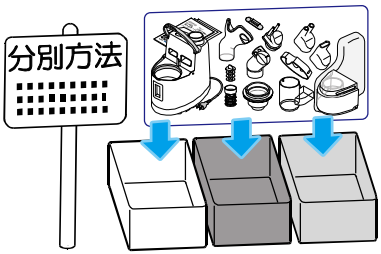
こんなとき	ここを確認	対処のしかた
ヒータ部から「ジュッ」と音がする	—	異常ではありません。 水滴が蒸発する音です。
吸入器本体が温かい	—	異常ではありません。 電化製品のため、動作中は多少温度が上がります。
モータ音が気になる	—	異常ではありません。 個体差はありますが、若干の音は発生します。

お知らせ

● 上記の確認をしても異常がある場合は、ご購入の販売店または弊社お客様相談センター（0120-514-016）に修理を依頼してください。

廃棄について

● 吸入器本体、消耗品、残留物などを廃棄する場合は、各自治体の分別方法に従って廃棄してください。



仕様について

仕　様

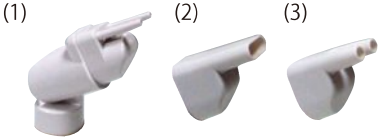
販売名	超音波温熱吸入器　UN-135
型名	UN-135
定格電圧	AC100V　50/60Hz
定格消費電力	90W
定格時間	短時間定格　5分間
霧化量	強：約 1.8mL/ 分　普通：約 1.2mL/ 分
霧化粒径	約 5μm
霧温度	約 43℃（気温 23℃　水温 15℃）
外形寸法	幅 111（mm）×高さ 286（mm）×奥行き 188（mm）
本体質量	約 1.1kg
付属品	吸入マスク、マスクカバー、吸入ノズルセット、口ノズル、鼻ノズル、計量スプーン、ヒーターガード、吸入液カップ、霧化カバー、本体保護カバー 取扱説明書（保証書付き）、添付文書、クイックガイド

医療機器認証番号	225AHBZX00022000
類別	機械器具 76 医療用吸入器
一般的名称	家庭用超音波吸入器
医療機器分類	管理医療機器
製造販売業者	株式会社 エー・アンド・デイ 住所：〒 364-8585　埼玉県北本市朝日 1-243 電話（無料通話）：0120-514-016（お客様相談センター）

※ お断り無く仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。

別売品

次の別売品をご用意しています。
お買い求めは、ご購入の販売店または弊社お客様相談センター (0120-514-016) にご連絡ください。

品番	構成部品	
AXP-UN13X202	吸入液カップ	
AXP-UN13X203	計量スプーン× 3 個	
AXP-UN13X204	霧化カバーセット (1) 霧化カバー A (2) 霧化カバー B	
AXP-UN13X205	ヒーターガードセット (1) ヒーターガード A (2) ヒーターガード B	
AXP-UN13X206	吸入マスクセット (1) 吸入マスク (2) マスクカバー (3) 計量スプーン	
AXP-UN13X207	吸入ノズルフルセット (1) 吸入ノズルセット (2) 口ノズル (3) 鼻ノズル	

別売品

品番	構成部品	
AXP-UN13X208	本体保護カバー×１枚	
AXP-UN13X209	吸入マスク	
AXP-UN13X210	マスクカバー	
AXP-UN13X211	霧化カバー A	
AXP-UN13X212	霧化カバー B	
AXP-UN13X213	吸入ノズルセット	
AXP-UN13X214	鼻ノズル	
AXP-UN13X215	口ノズル	

保証規定

● 次のような場合には保証期間内でも有償修理になります。

1 誤ったご使用またはお取り扱いによる故障または損傷
2 保管上の不備によるもの、およびご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷
3 不適切な修理・改造および分解、その他のお手入れによる故障または損傷
4 火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源使用およびその他の天災地変や衝撃などによる故障または損傷
5 保証書のご提示がない場合
6 保証書にご購入年月日、保証期間、ご購入店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
7 ご使用後の外装面の傷、破損、外装部品、付属品の交換

● 保証書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。

● 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only Japan.

※ ご購入店または弊社営業所にご持参いただくに際しての諸費用は、お客様がご負担願います。

保証書

このたびは、超音波温熱吸入器をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。

この製品が、取扱説明書に基づく通常のお取り扱いにおいて、万一保証期間内に故障が生じた場合は、本保証書を現品に添えてご購入の販売店またはお客様相談センターへ発送願います。保証規定に基づき、保証期間内に限り無償で修理・調整いたします。

品名	エー・アンド・デイ　超音波温熱吸入器　ホットシャワー 5
型名	UN-135
お客様お名前	様
ご住所	□□□−□□□□
ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	（必ず販売店にて記入・捺印していただいてください。） 印
保証期間	ご購入日より 1 年間

株式会社 エー・アンド・デイ

〒 170-0013

東京都豊島区東池袋 3-23-14（ダイハツ・ニッセイ池袋ビル 5F）

製品のお問い合わせはお客様相談センターへ

【受付時間】月〜金（祝日、弊社休業日を除く）

AM 9：00 〜 12：00

PM 1：00 〜　5：00

無料通話　0120-514-016

〒 364-8585

埼玉県北本市朝日 1-243　（株）エー・アンド・デイ FE 課　修理係